

タイトル「**2018年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2018年度 経済学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	交通政策		
担当教員	辻本 勝久		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	月4	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 3・4年次		
科目名(英語表記)	Transport Policy		
授業の概要・ねらい	本講義では、ミクロ経済学の基礎理論に基づいて、交通サービスの特徴、交通分野への公的介入の根拠、運賃や投資、基盤整備に関する理論や政策について論じる。パワーポイントを用い、できる限り具体的な例を挙げながら説明する。		
授業計画	1 イントロダクション 2 交通の公共性と市場介入(1)費用通減産業 3 交通の公共性と市場介入(2)埋没費用 4 交通の公共性と市場介入(3)外部性その1 5 交通の公共性と市場介入(4)外部性その2 6 交通の公共性と市場介入(5)公共財、不確実性、情報の非対称性、所得再分配 7 運賃理論と運賃政策(1)限界費用価格形成 8 運賃理論と運賃政策(2)ラムゼイ価格形成 9 運賃理論と運賃政策(3)総括原価主義 10 運賃理論と運賃政策(4)ヤードスティック競争 11 運賃理論と運賃政策(5)プライスカップ規制 12 運賃理論と運賃政策(6)ロード・プライシングとピーク・ロード・プライシング 13 投資理論と投資政策(1)交通基盤整備と地域経済 14 投資理論と投資政策(2)プロジェクト案の評価手法 15 まとめ		
到達目標	キーワードを理解し、簡単に説明できること。 ミクロ経済学の基礎理論に基づいて、交通政策を論ずることができること。		
成績評価の方法	確認シートとグループレポート30%、定期テスト70%の配分で成績を出す。定期テストは参照不可とする。		
教科書	特になし。		
参考書・参考文献	竹内健蔵『交通経済学入門』、有斐閣。		
履修上の注意・メッセージ	交通政策に関する幅広い問題意識を持って受講して欲しい。 入門レベルのミクロ経済学の履修を前提として講義を進める。未履修者の受講も排除しないが、それなりの覚悟を持って受講すること。 私語防止のために全席指定制とする。		
履修する上で必要な事項	IC学生証で出席確認をするので、毎回必携のこと。		
受講を推奨する関連科目	ミクロ経済学に関する入門的知識を身につけた上での受講を推奨する。 「交通システム論」の単位を取得した上での受講を推奨する。		
授業時間外学修についての指示	毎回配布するプリントをよく復習すること。		
その他連絡事項			
科目ナンバリング			